

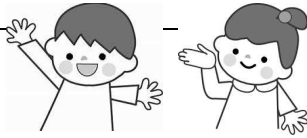
のびのび



平成30年度校長室だより 第6号 平成30年10月31日

湯田小学校の大切な言葉：あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

30年度チャレンジ目標：湯田小ABC



湯田ふれあいまつり

校長 伊藤 豊

先日、湯田ふれあいまつりに初めて参加しました。好天に恵まれて、会場はたくさんの人で賑わっていました。

まつり1日目には、本校からも2年生・4年生の子供たちがステージ発表に参加させていただきました。また、まつりを盛り上げるために、PTAの皆さんもたくさんのブースを担当しておられました。「揚げパン・遊休品販売・おもちゃくじ・おやじうどん・先生と遊ぼうコーナー」と盛りだくさんでした。ずっと以前から下準備を重ねてこられ、当日は、朝早くから設営を行ってくださいました。私も、椅子や机の搬出のお手伝いをしたのですが、PTAの皆さんや地域のご担当の皆さんがお手伝いに多く参加されたおかげで、流れるように準備が整いました。

いよいよまつりが開催の時刻になると、あちらこちらから人が集まってきました。子供たちも、普段の学校生活とはまた違った、とてもリラックスした表情で集まってきました。ステージイベントや各ブースに押され気味で、先生と遊ぼうコーナーへの客足はそんなに多くはありませんでしたが、教員有志による「あきカン積み」「魚釣り」のゲームも好評でした。



2日目は、餅まきの前に、台風で止む無く中止となった「ふれあい安心安全フェスタ」応募作品の優秀作品表彰が行われました。ステージ上で表彰を受けるとあって、子供もたいへん喜んでいました。子供に少しでもやる気を起こさせ、頑張りを認めようとする地域の皆さんの温かいご配慮がとてもうれしく感じました。その後の餅まきに私も投げ手として参加させていただきましたが、大量に準備されたお餅があっという間になくなり、湯田地域の皆さんの熱気を改めて感じることにになりました。湯田ふれあいまつりは、子供たちが安心して参加できるとても素晴らしいイベントでした。

こんなところに…「やさしい言葉」

「何度も口にすることで」



よく「人は人の中で人となる」と言われます。置かれた環境の大切さを説いているのですが、私が本校に赴任以来こだわっている「やさしい言葉」もそうした環境の一つだと考えています。やさしい言葉が交わされる環境に身を置くか否かで、言葉の身に付き方は異なると考えています。外国語を学ぶときに「言葉のシャワー」といった使い方をしますが、「やさしい言葉」がまさにそうです。校内音楽会で披露する各学年の歌には、やさしい言葉が散りばめられていました。練習

期間中、子供たちはほぼ毎日自分で口にし、友達の声を耳にすることができました。以下に、一例を引用します。

『だれにだって おたんじょうび』（1年生）

だれにだって すてきな日 みんなもってる みんなもってる 大切な日

『メッセージ』（2年生）

とどけたいことば あるんだよ 大切にしたいメッセージ
つなげたいことば あるんだよ かんしゃのきもちのメッセージ

『パフ』（3年生）

毎日なかよく遊んでいた

『ふるさと』（4年生）

夢は今も巡りて 忘れがたきふるさと

『ふるさと』

ひとりひとりのえがおが いま ぼくのそばに
巡り会いたい人がそこにいる やさしさ広げて待っている



『マイバラード』（5年生）

心痛む思い 例え君を苦しめても 仲間がここにいるよ
いつも君を見てる ぼくらは助け合って 生きていこう いつまでも

『大切なもの』（6年生）

いつか会えたなら ありがとうって言いたい
ひとりきりじゃないこと 君が教えてくれた 大切なものを…

伝えたい思いをすてきなメロディーに乗せて口ずさむ。音楽を通して「やさしい言葉」が校内にあふれていきます。

湯田小 ここがいいね



晩秋を迎え、朝の空気が凛としてします。毎朝7時過ぎ、学校の正門周辺の街路樹の落葉をご近所の皆さんが掃き集めていらっっしゃいます。たしか、昨日もきれいに掃き集められたばかりだというのに、新たな葉がたくさん落ちています。街路樹を見上げると、もうしばらくこの光景が続きそうです。「お疲れ様です。」と声をかけると「校長先生もご苦労さまです。」と、登校指導に出かける私を労ってくださいます。毎朝落ち葉掃きをされるご近所の皆さん方に頭が下がります。

正門前が毎朝すっきりきれいに掃かれていると、登校する子供や教職員も清々しい気持ちになります。子供たちの「おはようございます」の声に、もっと力を込めていかななくてはならないなと改めて感じるこの頃です。

さて、15時過ぎ、一日の学習を終えた子供たちの第一陣が正門を出て行きます。心なしか、子供たちの「さようなら」の音が弾んでいます。帰宅後に楽しい約束でもあるのでしょうか。

すると、お向かいの共済苑の窓辺に、おばあさんの姿が見え始めます。きっと、下校時の子供たちの声が聞こえているのでしょうか。その方は、にこにこしながら手を振ってくださいます。気づいた子供たちも手を振り返します。おばあさんも子供たちも、キラキラとした笑顔に包まれます。